

都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

整備事業

I 産地競争力の強化を目的とする取組用

(島根県 令和3年度)

| 市町村名 | 事業実施主体名 (対象作物・畜種等名)① | メニュー① 成果目標の具体的な内容① | 事業実施後の状況① | | | | | | | | | | メニュー② 成果目標の具体的な実績① (対象作物・畜種等名)② | 事業実施後の状況② | | | | | | | | | | メニュー③ 成果目標の具体的な実績② | 事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等) | 事業費 (円) | 負担区分(円) | | | | 完了年月日 | 事業実施主体の評価 | 都道府県の評価 | 備考 |
|-----------|-------------------------|---|---|--|--|--|--|--|--|--|-------|---------------------------|---------------------------------------|-------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|-------------|---|-----------------------------|-------------|-------------|-----|-------------|-------------|------------|--|---|----|
| | | | 計画時(平成26年) | 1年後(平成28年) | 2年後(平成29年) | 3年後(平成30年) | 4年後(令和元年) | 5年後(令和2年) | 目標年(令和3年) | 目標値(令和3年) | 達成率 | 計画時(平成26年) | | 1年後(平成28年) | 2年後(平成29年) | 3年後(平成30年) | 4年後(令和元年) | 5年後(令和2年) | 目標年(令和3年) | 目標値(令和3年) | 達成率 | 交付金 | 都道府県費 | | | | 市町村費 | その他 | | | | | | |
| | | | 1.56時間/生乳100kg | 1.85時間/生乳100kg | 1.93時間/生乳100kg | 1.41時間/生乳100kg | 1.33時間/生乳100kg | 1.41時間/生乳100kg | 1.28時間/生乳100kg | 1.13時間/生乳100kg | 65.1% | 163,812千円 | | 174,353千円 | 184,643千円 | 344,627千円 | 375,568千円 | 363,635千円 | 360,747千円 | 405,317千円 | 81.5% | 811,535,680 | 361,321,000 | | | | 0 | 0 | 450,214,680 | | | | | |
| 大田市 | 有限会社中山農場 | 畜産生産基盤育成強化(乳用牛) 生乳100kg当たり労働時間を27.6%削減 | 1.56時間/生乳100kg 労働時間20,015h/乳量1,281t | 1.85時間/生乳100kg 労働時間23,366h/乳量1,263t | 1.93時間/生乳100kg 労働時間24,319h/乳量1,259t | 1.41時間/生乳100kg 労働時間32,650h/乳量2,322t | 1.33時間/生乳100kg 労働時間33,191h/乳量2,488t | 1.41時間/生乳100kg 労働時間34,863h/乳量2,479t | 1.28時間/生乳100kg 労働時間32,718h/乳量2,553t | 1.13時間/生乳100kg 労働時間34,720h/乳量3,060t | 65.1% | 生乳100kg当たり労働時間が17.9%減少した。 | 畜産生産基盤育成強化(乳用牛) | 受益農家の生産額を147.4%増加 | 163,812千円 内訳 生乳生産額148,297千円 子牛生産額14,910千円 堆肥生産額605千円 | 174,353千円 内訳 生乳生産額151,531千円 子牛生産額22,453千円 堆肥生産額369千円 | 184,643千円 内訳 生乳生産額151,842千円 子牛生産額32,565千円 堆肥生産額236千円 | 344,627千円 内訳 生乳生産額280,972千円 子牛生産額63,246千円 堆肥生産額409千円 | 375,568千円 内訳 生乳生産額306,761千円 子牛生産額68,587千円 堆肥生産額220千円 | 363,635千円 内訳 生乳生産額312,600千円 子牛生産額50,260千円 堆肥生産額775千円 | 360,747千円 内訳 生乳生産額322,291千円 子牛生産額38,249千円 堆肥生産額207千円 | 405,317千円 内訳 生乳生産額353,614千円 子牛生産額50,803千円 堆肥生産額900千円 | 81.5% | 畜産物共同利用施設整備 家畜飼養管理施設成牛舎1棟(3436.08㎡) 搾乳棟1棟(534.17㎡) 哺乳育成牛舎1棟(556.20㎡) 飼料調製庫1棟(960.00㎡) 堆肥舎1棟(322.68㎡) 管理棟1棟(139.92㎡) | 受益農家の生産額が120.2%増加した。 | 811,535,680 | 361,321,000 | 0 | 0 | 450,214,680 | 平成29年7月28日 | 生乳100kgあたりの労働時間については、施設整備後、計画どおりに搾乳頭数が増頭できたことから、生産乳量が増加し、生乳100kgあたりの労働時間の縮減が図られたものの、生産乳量が目標に達しなかったことから、未達成となった。また、生産額の増加については、同じく生産乳量が目標に達しなかったことを主要因として、未達成となった。生産乳量の未達成については、飼養・飼育管理を徹底し、1頭あたり生産乳量の増加を図り、目標達成に向けて取り組む。 | 生乳100kgあたりの労働時間、受益農家の生産額ともに、目標未達成となっている。未達成の要因として、乳量の増産が課題となっていることから、事業実施主体と牛群改良も含めた改善方策の検討を行うとともに、関係機関と連携し、乳牛の能力を最大限に発揮できる群管理及び個体管理等、飼養管理の改善について指導を継続して行う。 | |
| 都道府県平均達成率 | 73.3% | 総合所見 | 県平均達成率は未達成となった。未達成となった主原因は乳量の増産であることから、事業実施主体と牛群改良も含めた改善方策の検討を行うとともに、関係機関と連携し、乳牛の能力を最大限に発揮できる群管理及び個体管理等、飼養管理の改善について指導を継続して行う。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(注) 1 別紙様式1号の2のIに準じて作成すること。
 2 要綱第3の4の(2)のアのただし書きの場合にあつては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。
 3 「事業実施主体の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、所見を記入すること。